

# 呉錦堂を語る会通信

NO.1 Apr. 2012

発行 兵庫県明石市北朝霧丘2-8-34

橘 雄三 方「呉錦堂を語る会」

Tel. 078-911-1671

編集 「呉錦堂を語る会通信」編集委員

発行日 2012.4.1



## 移情閣で「旧呉錦堂別邸」碑の除幕式挙行

2011年11月12日（土）、午後1時から、移情閣（孫文記念館）前で呉錦堂令孫呉伯瑄氏寄贈の「旧呉錦堂別邸」碑の除幕式が行われました。式には、財団法人孫中山記念会田崎理事長、孫文記念館安井館長、兵庫県公園緑地課塚原副課長はじめ多くの関係者が参列しました。

呉伯瑄氏は、「子孫として呉錦堂の足跡を記録にとどめることができるようになった」と感慨深げでした。これで、参観の方々に、移情閣が呉錦堂の別荘であったことが、すぐにご理解いただけるようになりました。



左側は田崎、安井、塚原の各氏 右側は呉家のみなさん



参列の関係者

### 除幕式にあたって 呉 伯瑄

祖父呉錦堂が建て、私にとっても思い出の詰まった移情閣に、このような碑ができましたこと、誠に感慨深いものがあります。碑の設置にあたり、ご尽力いただきましたみなさまに心からお礼申し上げます。

石碑については、大きさ、デザイン、石の種類など、知り合いの石工さんをお願いし、やっと、気に入ったものができました。石は岡山県万成産の花崗岩です。淡紅色の長石を含み桜御影として有名です。表面は、最高級とされる小叩き仕上げが施されています。

これで、移情閣が呉錦堂の別荘であったことが、参観の方々に一層よくお分かりいただけると思います。

みなさま、ありがとうございました。



基礎工事



碑の据え付け工事



田崎理事長と握手する呉氏



呉伯瑄氏ご夫妻

### 移情閣の変遷（詳しくは次頁）

明治30年代 松海別荘建設

1913年 孫文、松海別荘で開かれた  
午餐会に出席

1915年 移情閣上棟（以下、別荘全  
体を移情閣と呼ぶ）

1946年 呉錦堂合資会社、移情閣を  
神戸中華青年会に寄贈

以後、移情閣の所有は、神戸華  
僑の中で、個人連名になったり、  
法人名義になったりする

1983年 神戸華僑総会、移情閣を兵  
庫県に寄贈

1984年 移情閣、孫中山記念館とし  
て開館。平成17年より孫文記念館

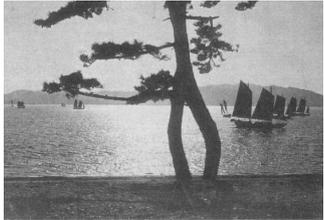
1994年 明石海峡大橋の建設に伴い  
解体工事着工

1995年 阪神・淡路大震災

2000年 復原開館

■編集後記 「呉錦堂を語る会通信」の創刊号にふさわしい行事と考え、「旧呉錦堂別邸」碑の除幕式を取り上げました。お気づきの点等ございましたら、編集委員までお願いいたします（編集委員 橘 雄三）

## 舞子浜の変遷と3館（移情閣・旧武藤山治邸・旧木下家住宅）の略歴

年（西暦）	内 容	
明治21年(1888年)	私鉄の山陽鉄道によって、兵庫～明石間開通	
明治22年(1889年)	7月、東海道本線(官設)、新橋～神戸間全通 10月、山陽鉄道によって、神戸～姫路間全通	
明治27年(1894年)	有栖川宮別邸(現、舞子ビラ)建築	
明治29年(1896年)	「舞子公園停車場」開業。山陽鉄道は1906年に国有化 1933年、「舞子駅」に改称	
明治33年(1900年)	兵庫県の県立公園第1号、舞子公園開園 この頃、舞子の海岸には、幅70m～80mの小石まじりの砂浜が続いていた	舞子浜の夕映え(明治40年頃)
明治後半 大正 昭和初期	明治後半から大正、昭和の初めにかけて、須磨、舞子、明石は一大レジャーゾーン、リゾート地として栄えた。舞子の海岸には、左海屋、萬亀楼、富貴楼、呉錦堂の松海別荘(明治30年代建築)、武藤山治別邸(明治40年建築。以下、[旧武藤山治邸]と表記)など、豪壮な建物が並んで偉観を呈した 海岸は、宅地化及び浸食作用により次第に消滅	
大正4年(1915年)	松海別荘の東側に八角三層の移情閣を増築(以下、両方を含めて[移情閣]と表記) 舞子ホテルの前身、日下部久太郎別邸建築(大正4年から昭和初めにかけて、洋館、大広間棟、奥座敷、楼閣と次々増築)	
大正6年(1917年)	兵庫電気軌道(現、山陽電気鉄道)、明石まで延伸。「舞子公園駅」開業	
昭和3～8年 (1928～33年)	神明国道(現、国道2号線)拡幅改修 この工事に伴い、舞子駅から有栖川宮別邸入口道路辺りまで、国道と海との間にあった旅館、別荘は[移情閣]を除いて全て移転。[旧武藤山治邸]はもっと東にあった。	
昭和12年(1937年)	[旧武藤山治邸]、武藤家から鐘淵紡績(株)に寄贈。社員の厚生施設「鐘紡舞子倶楽部」として利用	
昭和16年(1941年)	又野良助邸(以下、[旧木下家住宅]と表記)、南棟と東棟竣工。昭和18年、西棟含め完成 この時期は、戦時の物資統制下にあった。屋根の葺き方、コンクリート基礎など、建物にその影響と思われる箇所が散見する	
昭和21年(1946年)	呉錦堂合資会社、[移情閣]を神戸中華青年会に寄贈	
昭和27年(1952年)	[旧木下家住宅]、木下家の所有となる。翌年、土蔵移築。昭和30年頃、納屋増築	
昭和41年(1966年)	神戸中華青年会、[移情閣]の修復を「孫中山記念館建設委員会」に一任。この後、[移情閣]の所有者は、神戸華僑の中で、個人連名になったり、法人に戻ったりした	
昭和58年(1983年)	神戸華僑総会、[移情閣]を兵庫県に寄贈	
昭和59年(1984年)	[移情閣]、「孫中山記念館」として開館。平成17年、「孫文記念館」に改称	
平成7年(1995年)	1月17日、阪神・淡路大震災 [旧木下家住宅]、大屋根は屋根瓦が落ち、トタンで修復。土蔵については、壁面に亀裂など生ずるも屋根瓦は落ちず [旧武藤山治邸]、明石海峡大橋建設に伴う国道2号線拡幅工事のため、西洋館のみを垂水区狩口7丁目に移築	
平成12年(2000年)	[移情閣]、平成12年4月、元あった場所から南西約200mの地に復原開館(平成6年、明石海峡大橋の建設に伴い解体着工) 9月、木下家、[旧木下家住宅]を兵庫県に寄贈	
平成13年(2001年)	[移情閣]、国の重要文化財に指定 国、[旧木下家住宅]を登録有形文化財として登録	
平成15、16年 (2003、04年)	数次の台風がこの地域に大きな被害をもたらした。[旧木下家住宅]では、書院の屋根瓦が飛ぶなどの被害を受けた。ビニールシートで応急処置	
平成18年(2006年)	[旧木下家住宅]、平成18年3月、国の国庫補助事業に採択 主屋他工事期間:平成18年12月～21年3月 外構・園路整備:平成21年4月～10月	
平成19年(2007年)	カネボウ(株)、[旧武藤山治邸]を兵庫県に寄贈 兵庫県は、元の所在地近く、県立舞子公園内に移築復元工事を開始(現在、工事中)	
平成21年(2009年)	[旧木下家住宅]、修復工事、庭園再生、管理棟新設完了。10月24日、一般公開始まる	